



安全だより

第48号
令和6年3月発行
公益社団法人
東大和市シルバー人材センター
安全管理委員会

安全管理委員会より

新しい年の平穏と多幸を願う元旦に、能登半島を中心に震度7の大地震が襲いかかった。

テレビを通じて目に入ってくる家屋倒壊、津波、土砂崩れ、そして火災の甚大な被害。改めて、この国では大地震はいつでもどこでも突然に起こりうることを痛感させられました。

被災地では、ボランティア活動が少しずつ進んではいるが、極寒の避難所で既に2ヵ月、先の見えない避難生活を続けざるを得ない多くの被災者に思いを馳せながら、私達は地震への徹底した「備え」の大切さを再確認したいものです。

これを機に家族とのコミュニケーションを深め、断水や停電に備えた備蓄確認をはじめ、防災・減災・被災地支援など、自分たちにできることから少しずつ取り組んでいきましょう。

令和5年度も残すところ1か月余り、健康で安全な春を迎えたいものです。

令和6年度安全就業標語優秀作品決定！！

令和6年7月の安全就業強化月間に向け、全会員に対し募集した安全就業標語は120作品の応募がありました。安全管理委員会にて厳正な選考の結果、次の作品が選ばれましたのでご紹介します。この6作品は、東京しごと財団に推薦いたします。他のセンターの推薦作品とあわせ、都の令和6年度的最優秀作品他の選考対象となります。

東京しごと財団統一テーマ 「自転車事故防止」

最優秀賞

「停止線 手前で止まり みぎひだり」

桑原 妙子 会員

優秀賞

「まだ行ける？ 点滅信号 もう止まれ！」

窪田 進 会員

「慣れた道 注意散漫 事故のもと」

小川 一男 会員

当センター独自テーマ 「私の事故防止・健康管理」

最優秀賞

「安全は 心と時間の 余裕から」

小川 一男 会員

優秀賞

「育てよう 隠れた危険 感じる目」

窪田 進 会員

「ルール無視 自己流こそが 命とり」

窪田 進 会員

安全就業パトロール実施報告(植木剪定作業)

《実施日時》 令和6年1月24日(水) 午前10時～12時 天候：晴 気温：2℃

《職 群》 植木班 《作 業 者》 窪田リーダー以下3名 《巡 回 先》 市内湖畔の個人宅

《巡 回 者》 橋本委員(記録)、西永副委員長、柳原委員、櫻澤委員、事務局：関田主事 合計5名

評価事項

○安全就業基準項目内容(基本項目：10個)、及び観察項目内容

(1) 安全就業基準項目に則した対応は満たしておりました。作業前の体操は全員でのラジオ体操などの本格的な準備運動ではないものの、各自工夫を凝らした準備運動をしっかりとっている。

(2) 観察項目内容について

①住宅地の狭い道路に隣接した作業であり、歩行者・通行車のための交通整理要員がいると良い。(課題)

②敷地内においての安定した脚立足場の確保とつまずかずに歩行するため、切り落とした枝葉や伐採した樹木などの置き場所を決め、整理・整頓しておくが良い。

○安全管理委員会から

- ・今年一番の厳しい寒さの中での作業だったが、動きやすい防寒服装で作業しており、寒さ対策は十分である。
- ・作業員の皆さんは責任感をもって明るく作業をしており、好感が持て、顧客の印象も良いと思えた。

○植木班リーダーとのヒアリング

- ・発注者の都合により作業範囲・要員繰りなどに苦心している。
- ・1丁吊り墜落制止用具(安全带)の使用により、従来の2丁吊りに比べ作業効率が良くなったとのこと。(但し、今回の作業範囲では使用することはないとのこと。)
- ・リーダーがしっかりとっていて、統率力が発揮されている。

《総評》

- ・剪定作業は危険を伴いますが、緊張感・スピード感を持ってかつ丁寧な作業は信頼に値するものであった。
- ・植木剪定作業は、顧客の需要も多く当センターでも重要な作業の一つであり、安全就業には継続的な取り組みをお願いしたい。



自転車事故発生時に「頭」を守ろう！

「東大和市自転車用ヘルメット購入費補助事業」

自転車ヘルメットを2,000円引きで購入
できます！

対象者

- ① 東大和市内に住所を有する方
- ② 自身が着用するための自転車用ヘルメットを購入する方
- ③ 市の自転車安全利用啓発冊子で学習をした方

- ・市内の指定9店舗で、税込み3,000円以上の新品のものの販売価格から2,000円割引で購入できます。
- ・本人確認書類が必要・・・運転免許証、健康保険証、マイナンバーカードなど。
- ・「東大和市に住所を有する」ことを店員に示し、お店で配布される申込書を記入し、購入してください。
- ・購入時に配付される自転車安全利用啓発冊子をよく読んでください。



- ・当センターの令和5年度の5件の傷害事故のうち4件が自転車の事故です。
- ・警視庁の事故統計によると、過去5年間(平成30年～令和4年)の自転車乗車中死者のうち、約7割が頭部に損傷を負っています。
- ・ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて約2.3倍にもなります。
→自転車乗車時は、頭を守ることが重要！

■期間：令和6年3月31日(日)まで
期間中でも予算がなくなり次第終了となります。
東大和市 道路交通課 交通対策係
電話 042-563-2111 (内線 1213)

東京しごと財団 安全就業巡回指導報告

令和5年12月14日木曜日、東京しごと財団の安全就業パトロール指導員 坂東寛氏により安全就業巡回指導をいただきました。

午前中は2か所の屋内清掃作業現場の巡回指導、午後は安全就業に関わる調査・ヒアリングを通して指導いただきました。

当センターの傷害事故の分析データの紹介・説明があり実態が把握でき、今後の取組課題がクリアになりました。

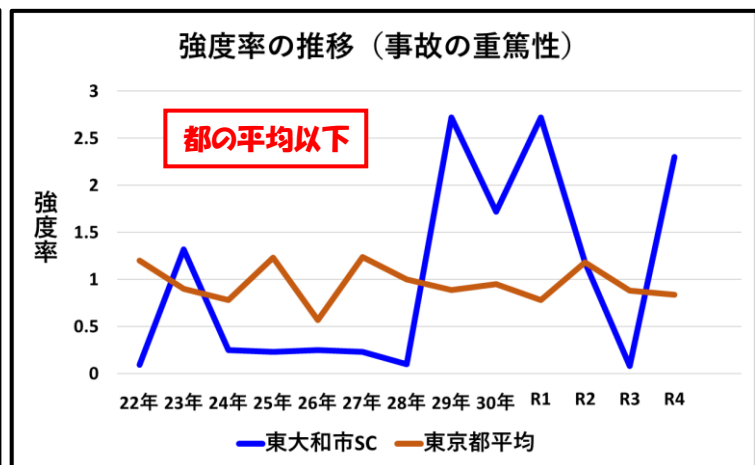
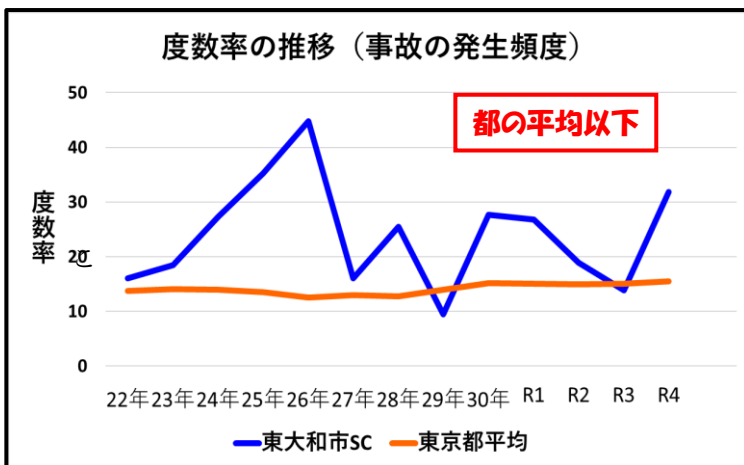
就業現場では、就業中の会員とのヒアリングが中心になり

- ① 蛍光灯交換時の脚立使用時には踏み外しに注意すること。
- ② 歩道やゴミ集積所の清掃作業は公道に接しての作業になるので、自転車・車等の通行に注意すること。
- ③ 階段・段差が多いので、つまずき転倒・転落等に注意すること。
- ④ モップ掃除の水漏れ、外部に面した階段凍結など滑りやすいので注意すること。

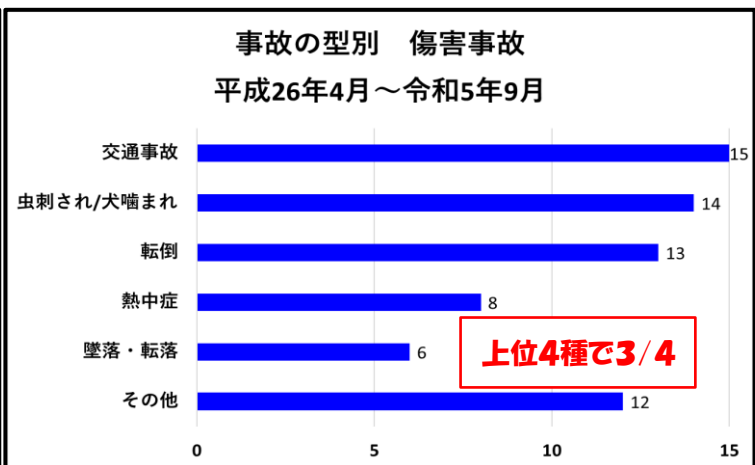
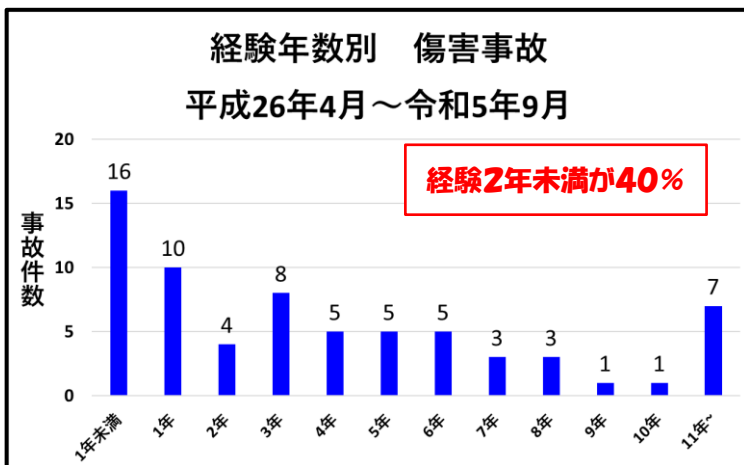
など、改めて作業における注意ポイントを再確認できました。

次に当センターの傷害事故の分析データの一部を紹介します。(対象：過去13年間の傷害事故68件)

下の二つの指標は、単に事故発生件数の多い少ないだけではなく、各センターの人員規模や作業時間を考慮し、東京連合58センターを同じ物差しで比較できるように数値換算した指標です。度数率とは事故の発生頻度を表し、強度率は事故の重篤性(死亡、入院・通院の期間長さ)を表しています。



この指標は低い値がより良い状態ですが、**度数率・強度率共に、当センターは平均以下のレベル**にあります。まずはこの状況を認識するところから、活動を展開していく必要があると思います。



経験年数別では事故当事者の**作業経験が2年未満の会員が占める割合が約40%**であり、就業する際の初期の導入教育・先輩方の指導が重要であることを示しています。型別にみると、**自転車関連の事故、虫・蜂刺され、転倒、熱中症で事故総数の3/4**を占めており、今後、この傾向を踏まえた事故防止活動を展開していきたい。

応急救護訓練実施報告・・・5年振りに実施

年末も押し迫った令和5年12月21日の木曜日、10時から中央公民館ホールで5年振りに応急救護訓練を実施しました。

講師は東京消防庁北多摩西部消防署の峯岸指導員にお願いし、久島・原田両氏のサポートもいただきました。

受講対象者は公共施設管理に就業している会員を中心に23名の参加が得られました。

講義の前半はAED操作含め、応急救護の一連の流れを口頭で説明をいただき、後半はそれを踏まえた上で、受講者一人一人の現地訓練という内容でした。

救急車が到着するまでのわずかな時間(10分前後)での応急救護は、時には生死の分かれ道にもなるという説明を受け、受講者は本番さながらの大声での声掛けやAED操作、胸骨圧迫など真剣に取り組んでいました。

今回の訓練で一連の応急救護が一人で完全にできるかということと実際には難しいのかもしれませんが、AED操作は自動音声のメッセージに従って操作すればよいことも確認でき、いざという時には近くにいる人と協力し合って、大切な命を守る手助けにはなると感じていただけたようです。

繰り返し訓練を経験することで、勇気と自信をもって応急救護に臨めるのだと思います。今後も多くの会員の皆さんに受講をお願いします。



【#7119：救急車を呼ぶかどうか迷ったときの連絡・相談先です】

転倒予防講習会 参加者募集

ちょっとした段差につまずいたり、転んだりしませんか？ 東京都シルバー人材センターの就業中傷害事故の約4割が転倒事故という報告がされています。そのような転倒事故につながらないためにも転ばぬ先の杖ではありませんが、転ばないための体作りの「転倒予防講習会」を以下の要領にて開催します。

【実施内容】

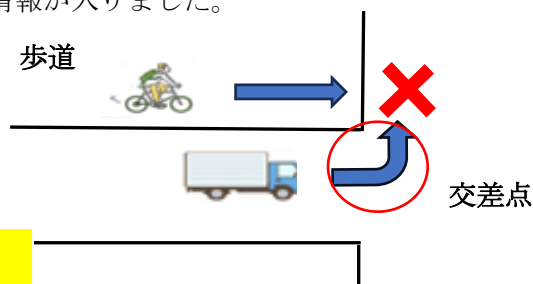
1. 日時：令和6年3月22日（金）午前10時～12時
2. 場所：東大和市中央公民館 ホール 東大和市中央3丁目926
3. 講師：スポーツプログラマー 山内 道子 氏
4. 人数：30名程度
5. 持参：①タオル2枚（内：1枚汚れてよいもの）、②飲み物（水分補給用）
6. 服装：動きやすい服装（可能であれば5本指靴下着用）
7. 申込方法：東大和市シルバー人材センターへ連絡（042-565-0531）
8. 申込締切：令和6年3月15日（金）まで
9. 注意事項：①車の来場は控えてください（駐車場利用不可）

②中央公民館では受付していません。問い合わせは東大和市シルバー人材センターへ

注意喚起！自転車運転中の死亡事故発生！・・・[交差点での巻き込まれ事故]

東京しごと財団から、自転車乗車中の死亡事故発生の注意喚起情報が入りました。

- ・自転車に乗車し、歩道を走行。
- ・前方交差点が青信号だったのでそのまま進入。
- ・左折してきた大型トラックの死角に入り衝突。
- ・そのまま転倒して巻き込まれ、死に至る。



青信号でも、周囲に注意！ 特に左折車の死角に注意！